

中電とメトロ電気工業、佐藤鉄工所 共同で薄板CFRP急速加熱装置

中部電力は3日、メトロ電気工業（本社安城市）、佐藤鉄工所（同名古屋市港区）と共同で、薄板のCFRP（炭素繊維強化プラスチック）を急速加熱する装置を開発したと発表した。加熱時間は現在主流の装置に比べて5分の1に短縮する。薄板CFRPを使う自動車部品などの大量生産につながる。

厚さ1〜2ミリのCFRPのプレス成形に使う。主流の赤外線式加熱装置の場合、加熱時間は約60秒。新装置は12秒で済む。新開発

条件を見つけた。

新装置は3日、佐藤鉄工所で受注を開始した。価格は標準タイプで700万円程度。年間10台の販売を目指す。

200社出展 バイヤーらへPR

種清ポルトメッセで秋季見本展示会

菓子・食品卸業の種清（本社名古屋市西区、広瀬弘幸社長）は3日、名古屋港区のポルトメッセなどで「秋季見本展示会」を開催した。写真。仕入れ先約200社が出席し、スーパードバイヤーらにPRした。

今回は、人口減少などに対応し、新たな需要を開拓しようとする動きが目立つた。井村屋はジョギングなど運動中に気軽に食べられるようかん「スポーツようかん」をPR。スティック形状のパッケージを軽く押すと中身が出てくる商品

移動販売事業を

